

良きパートナーシップの構築

カシオは、国内および海外の多くのお取引先からさまざまな資材を調達しています。長期的かつ発展的な取引を基本に、資材調達方針に基づき、サプライチェーン全体で CSR 活動強化、適正な取引のための取り組みの充実を図っています。

カシオが取り組む CSR 調達

カシオは公正で公平な取引のもと、法令遵守、人権・労働・安全・健康への配慮、環境保全、情報セキュリティなどの社会的責任をサプライチェーンを通じて遂行するために「資材調達方針」を制定しています。お取引先のご理解・ご賛同によるパートナーシップ体制の構築により CSR 調達水準のさらなる向上に取り組んでいます。

■資材調達方針

資材調達方針

カシオは、公正で公平な取引のもと、法令・社会規範の遵守、環境保全への配慮等の社会的責任をサプライチェーンを通じて遂行する為、お取引先とのパートナーシップを強化しながら次のとおり取り組みます。

1 公正で公平な取引

カシオは、国内外を問わずお取引先(候補)に対し広く門戸を開き、定められた手順による調達業務と、機会均等に接する公正・公平な取引を行います。

2 法令・社会規範の遵守

カシオは、調達活動に際し、法令・社会規範(児童労働・強制労働・差別の禁止、人権の擁護、結社の自由、団結権及び団体交渉権をはじめとする世界各国の法律・基準・条約、更に反社会的勢力との一切の関係遮断)を遵守します。そのため、カシオは必要な資材を提供していただくお取引先にも法令・社会規範の遵守をお願いします。

3 環境保全への配慮

カシオは、「カシオ環境憲章」「環境基本方針」に基づき、お取引先との連携による地球環境に充分配慮した調達を行い、地球環境の保全に貢献していきます。

4 お取引先とのパートナーシップの強化

カシオは、お取引先との、技術開発力の融合と補完、サプライチェーンでの連携、法令・社会規範の遵守と地球環境保全等、多岐に渡る相互理解に基づく信頼関係を強化し、互いの発展を追求します。

5 お取引先の選定と取引継続の方針

カシオは、取引の開始・継続にあたり、法令・社会規範の遵守、環境保全への配慮、適正な情報保護、他者の知的財産の尊重、健全で安定した会社経営、優れた技術開発力、あるべき価格と品質の確保、安定供給の確保、電子商取引への対応等を総合的に判断し、取引の開始・継続を行います。

6 あるべき価格と品質の確保

カシオは、世界中のお客様から厚い信頼が得られる最良の商品を安定供給する為、あるべき価格と品質の確保に努めます。

7 私的な関係の禁止

カシオは、すべての従業員にお取引先と個人的な利害関係を持つことを禁じております。

お取引先とともに遂行する社会的責任

カシオは、「資材調達方針」をお取引先とともに遂行するために、その指針となる「お取引先さまへのお願い」を制定しています。

日本および海外のお取引先すべてにご賛同をいただき、社会的責任を果たしていきます。

また、定期的なモニタリングの仕組みを導入しており、サプライチェーンでの取り組みをさらに向上させていきます。

お取引先さまへのお願い <http://www.casio.co.jp/csr/exchange/exchange01/>

遂行指針の共有

カシオは、生産活動の8割強を中国・アセアン地区に展開しており、毎年中国華南地区とタイ国において、資材調達方針説明会を開催しています。

従来は、カシオから事業方針を説明する「一方向コミュニケーション」の場でしたが、2009年度からは、代表取引先にCSR取り組み事例発表を行っていただくなど、お取引先参加型の「双方向コミュニケーション」の場への転換を図りました。

今後も引き続き、お取引先とカシオが協働で「CSR遂行水準の向上」を目指していきます。



資材調達方針説明会



資材調達方針説明会での表彰式

遂行管理の徹底

2007年度より、日本国内の主要なお取引先に対する企業の社会的責任（CSR）遂行に関するアンケート調査*を開始しましたが、2009年度は対象を海外のお取引先まで拡大しました。

生産活動の8割強を占める中国・アセアン地区では、資材調達の現地化も進んでいます。サプライチェーン全体でCSRに取り組む上でも、海外のお取引先の実態を把握する事は重要な課題であり、2008年度の日本国内と同じアンケート項目で調査を行いました。

中国とタイのお取引先161社より、アンケートに回答いただき、集計・分析結果とともに、カシオが目指すCSR調達のあるべき姿についての考え方をすべてのお取引先にフィードバックしました。

また、国内の主要なお取引先に対しては、カシオの生産系グループ会社合同でアンケート調査を行い、278社から回答をいただきました。

従来は、CSR遂行項目（39項目）の実施状況（実施済／計画中／予定無し）をお聞きする形式でしたが、2009年度はお取引先のCSR遂行に対する「経営方針、推進体制、教育、自社の実態の自己評価」など、全340項目を5点法のスコアリングで指標化してお聞きする形式に変更しました。

アンケート結果については、「全お取引先の回答平均値」と「お取引先ごとの回答値」を、一覧表で

対比した資料を、お取引先ごとにメールでフィードバックしました。

2010年度のテーマとして、お取引先に対して、現場視察による実態把握を行います。

そのため海外拠点で、ローカルスタッフを中心とした「CSR推進プロジェクト」を立ち上げました。

※アンケートの項目は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)版「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠しています。(1)人権・労働 (2)安全衛生 (3)環境 (4)公正取引・倫理 (5)品質・安全性 (6)情報セキュリティ (7)社会貢献

■ CSR展開のステップ



お取引先の声



株式会社村田製作所 営業本部 西東京営業所 所長
谷 正博様

株式会社村田製作所は、カシオ様のCSR調達に賛同しています。
株式会社村田製作所は、カシオ資材調達方針に賛同し、サプライチェーン実践企業としてCSR遂行度の向上に積極的に参加しています。
カシオ様が要望されるCSR遂行項目に対応し、その維持に努めています。

下請法遵守の取り組み

カシオは、グループ会社を含めた「下請法遵守委員会」を設置し、常に法令に基づいた適正な取引を行うよう努めています。

特に、お取引先・委託先の窓口を担当する従業員には、社内講習の受講や監督官庁が主催する講習会などを通じて、必要な知識の習得を図っています。

2009年度は、社内講習をグループ全体で3,615人が受講、公正取引委員会や中小企業庁が主催する講習会へも59人が参加し、遵法意識や必要な知識の定着を図りました。また社内講習では、実際の下請取引の場面を設定し、より具体的に業務と関連付けた学習内容とすることで、一層の理解を図っています。さらに、中小企業庁からの出前講習もお願いするなど、各部門がさまざまな工夫をしながら理解の促進を図っています。

この他、官公庁のWebの閲覧・メール配信サービスなどで最新情報を取得し、遵守委員へ直接配信するとともに、遵守委員会のWebページに掲載し、グループ内での共有を図っています。

一方、下請取引のある現場では、順次自主監査を行っています。発注から支払いまでの一連の取引について、保存書面を検査しながら適正な取引・遵守の状況を確認し、問題が発生しないよう努めています。2009年度は、グループ会社内の下請遵守体制の見直しを行い、適正な下請取引を維持する体制の効率化を図りました。

今後も引き続き、下請法への理解を深め、遵守水準の一層の向上に向け、体制強化に努めていきます。